

# 公益社団法人 石川県作業療法士会 ニュース

第125号 2023年1月11日 発行

## 作業療法体験セミナーおよび中高生と 高齢者の課題解決型交流事業の開催

事業部部長 宮腰 真  
(地域医療機能推進機構金沢病院)

事業部は作業療法の普及啓発事業として、「中高生による高齢者の生活向上プロジェクトを実現するためのキャリア教育支援」を実施している。

### 作業療法体験セミナー

中高生向けの職業体験である作業療法体験セミナーを2022年11月20日(日)にオンラインで開催した。参加者は高校生4名、保護者1名であった。プログラムはスライドと動画で作業療法とは何かを紹介し、検査体験や作業療法士との懇談を行った。参加者からの満足度では非常に高い結果が得られている。一方で、この事業の知名度、参加状況はいまひとつである。より多くの方に関心を持ってもらえるよう取り組みを継続して行きたい。

### 中高生と高齢者の課題解決型交流事業

中高生ボランティアによる高齢者オンライン体験会を12月4日(日)に津幡町地域交流センターにて開催した。参加者は地域の高齢者8名、学生8名であった。内容としてはスマートフォン、タブレットを使用し、生活の中で役立つ情報を検索したり、趣味に関連し

た動画を見つけて視聴したりしていくものであった。参加者からは「時間があっという間だった」「また参加したい」との声が聞かれた。

### 今後の活動

近年、社会ではデジタル技術の活用が進んでいる(デジタルリテラシー)。ご参加いただいた高齢者方には、デジタル技術に触れることで、デジタル化社会から取り残されず、ご自身の生活に役立つ情報を得ながら心身の健康を促進していただけたら幸いである。ボランティアで参加していただいた中高生にとっては、キャリア教育(心豊かな成長)に繋げ、作業療法士の活動を通じて働くことの意味を感じていただけたら幸いである。

我々、作業療法士が活躍できるこの事業はとても素晴らしい取り組みだと感じている。この事業は地域からのニーズも高く、今後は能登、加賀、金沢など各地域に根ざした活動になればと思っている。



体験セミナーの動画より



スマートフォンの操作を楽しむ様子

## 当会の災害対策に関する活動について

災害対策委員会 担当理事 東 ひとみ  
(石川県リハビリテーションセンター)

### 【日本作業療法士協会 災害訓練】

日本作業療法士協会では、発災時、各地域の被災状況や会員の安否確認等を行い、協会と各士会が協力できることを目的に災害訓練を実施している。当士会としては4年目の参加となり、今年度は9月25日(日) 11時に行われた。昨年度までは理事および災害対策委員等が所属する機関の会員の安否確認・状況報告を実施したが、今年度は事前に登録した機関を加え、49機関316名の安否が確認できた。協力いただいた会員には感謝したい。今後当士会として発災時の安否確認・連絡方法を検討していくにあたり、各機関の災害時の対応について調査することとした。調査依頼の案内が届いた際は、回答の協力をお願いしたい。

### 【石川JRAT 活動本部訓練】

11月26日(土)、令和4年度中部ブロックDMAT実動訓練が県庁で実施され、石川JRATとして当士会からは会長が参加した。同時に石川JRAT活動本部訓練を県リハビリテーションセンターにて実施し、担当理事、災害対策委員が参加した。DMAT本部と情報共有をしながら、活動本部のイメージを持ち、立ち上げ方法と本部機能を学ぶことを目標に、講義・演習を行った。石川JRATとして初めて訓練を実施したが、被災地支援経験者やJIMTEF研修受講者の指導のもと参加者全員が発災時の対応について共に学ぶことができた。



### 【令和4年度 石川JRAT研修会について】

石川JRATでは、県内の医療・福祉関係者への啓発・育成を目的に今年度は「避難所運営から支援活動について」をテーマにオンラインにて研修を実施する。第1回は1月17日(火) 18時～19時に「避難所支援における活動の実践(講師：山形済生会病院 理学療法士 阿部恭子氏)、第2回は2月25日(土) 14時～17時に「オンライン避難所運営ゲーム(講師：NPO日本ファシリテーション協会 オンラインHUGチーム)」を開催する(第2回はゲームのため1人1端末)。

現在も参加申込み可能なため、職場での勉強会としても活用いただき、多くの会員が「災害」について学ぶ機会の間としていただきたい。

令和4年度 石川 JRAT 研修会

**避難所運営から支援活動について**  
(オンラインzoom開催)

大規模災害時の重要なものづくりが課題です。今回の研修会では、講師の先生をお招きし、避難所での支援活動について紹介致します。また、発災直後の避難所の出来事や避難者対応を模擬体験できるゲーム感覚で開発された「避難所 HUG」をオンラインで企画しましたので、ご参加お待ちしております。

**第1回 2023年1月17日(火) 18:00～19:00**  
「避難所支援における活動の実践」  
講師：済生会山形済生病院  
理学療法士 安倍 恭子 先生

**第2回 2023年2月25日(土) 14:00～17:00**  
「オンライン HUG(避難所運営ゲーム)」  
講師：NPO 日本ファシリテーション協会  
オンライン HUG チーム

定員：80名 参加費：無料  
締切：第1回：2023年1月10日(火)  
第2回：2023年1月31日(火)

申込み  
QRコードまたは下記の URL よりお申し込みください。  
<https://forms.gle/KfGk4uXxep50GLL7>  
メールでのお申し込みの場合、問い合わせ先アドレスにご連絡ください。  
問い合わせ先：jralshikawa@gmail.com(担当：大森)

※参加申込み締切後、申込みメールアドレスに、参加方法の詳細をメールでご案内致します。  
※研修会開催の3日前までにメールが届かない場合は、問い合わせ先までご連絡ください。  
※オンライン HUG は、グループに分かれてカードゲームを行うため1人1端末(パソコンもしくはタブレット)でご参加ください。

※本研修会は、石川県高度・専門医療人材育成支援事業の補助を受けています。  
構成団体：○日本リハビリテーション医学会北陸地方会 ○石川県理学療法士会  
○石川県作業療法士会 ○石川県言語聴覚士会 ○石川県介護支援専門員協会



研修参加申込み  
QRコード

# 県内作業療法士の認知症施策の関与状況調査 一斉調査アンケートの報告

認知症対策委員会担当理事 種本 美雪  
(専門学校 金沢リハビリテーションアカデミー)

今年の夏から秋にかけて、全会員に対し、認知症施策の関与状況調査として一斉アンケートを実施したので報告する。アンケートは194名(当県士会員の約2割)から回答を頂いた。アンケートにご協力頂いた会員の皆様に厚く御礼申し上げる。

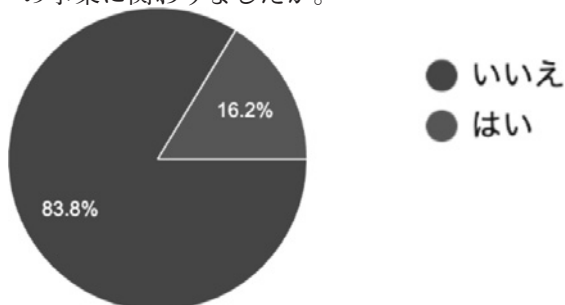
回答を得た会員うち、認知症に関連する地域関連事業へ関わりのある会員は2割弱にとどまり、市町への関わり内容については研修会や住民向けの講話が多く、次に認知症予防事業への参画、認知症カフェへの支援と続く一方で、特に参加していないか会員が半数を占めていた。また依頼先の多くは勤務先に直接依頼があったケースが多く、次いで県士会からの依頼や市町から直接依頼、の順で多い回答がみられた。

ボランティアとして認知症支援に関する活動を実施については、ほとんどの会員が活動していない結果となったものの、今後機会があれば、地域における認知症関連の活動に参画してみたいと考える会員は約半数の会員から回答を得た。

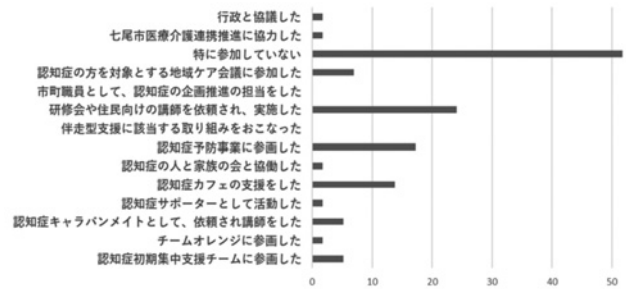
県士会への要望等として約30件の意見があり、「実際にどのような事が求められるのか情報が事前にあると良い」「地域で抱える問題などの情報提供や参考資料などがあればありがたい」「認知症に関する研修会開催や最新トピックスの情報提供がほしい」の内容について多く頂いた。

今後は認知症への取り組み等について、更に需要が高まることが想定されるため当委員会では、今回のアンケートを踏まえ、「会員への活動の広報」「養成研修会の開催」「会員への情報提供」「会員間のネットワーク作り」に重点を置き、活動を進めていきたいと考える。

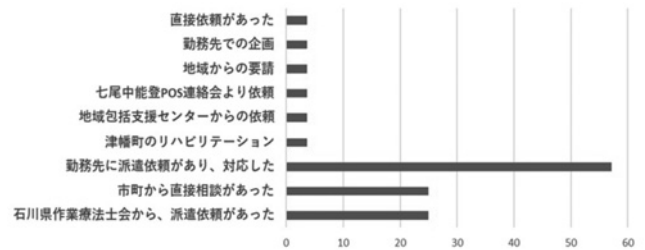
I. 令和3年度,あなたが認知症に関連する地域関連の事業に関わりましたか。



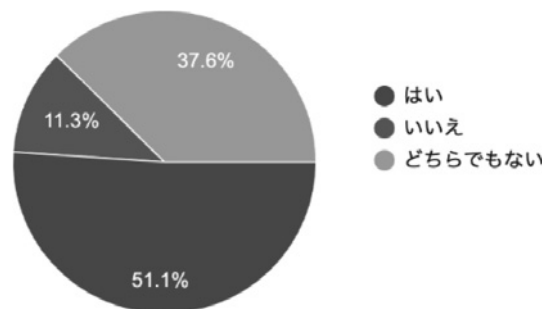
II. 市町が実施する事業に協力していますか。している事業すべてにチェックをお願いします。



III. 上記項目で一つでも関与していると答えた方へ、どのような経緯で依頼がありましたか。また、依頼事業についても記載願います。



IV. 今後機会があれば、地域における認知症関連の活動に参画してみたいと考えますか。



## 令和4年度いしかわ介護フェスタに参加して

老年医療部理事 越田 雄 (JCHO金沢病院)

10月8日(土)に石川県産業展示館3号館において、「いしかわ介護フェスタ」が開催された。これは介護の魅力や重要性を伝え、介護分野全体のイメージアップを図ることを目的とした参加・体験型のイベントであり、様々な団体のブース出展や最新の介護ロボットの展示・体験、介護技能グランプリなどが行われた。当会としては、ストローホルダー作りやボッチャ体験、パネル展示、パンフレット配布などを行った。コロナ禍や台風の影響により久々の開催であったが大勢の方が来場されており、当会のブースにもお子様連れを中心に約160名と多くの方にお越しいただいた。思い思いの絵やシールでオリジナルのストローホルダー作成を楽しまれ

るとともに、活用場面や対象者などについて説明すると、「なるほど」、「便利だね」と感心されていた。ストローホルダー作りを通して作業療法士の魅力の一端をお伝え出来たと思う。また、ひゃくまんさんとテミじいが当会ブースでボッチャの対決をするというサプライズもあり、大変盛況であった。作業療法の魅力や有用性を発信するうえで、このような地域の方と触れ合えるイベントへの参加は非常に重要であると感じた。



## 第31回石川県作業療法学会のご案内

次期学会長 川上 直子 (恵寿総合病院)

第31回石川県作業療法学会は令和5年6月24日(土)、25日(日)に「作業療法士の専門性を活かす～人々の生活の可能性を広げる～」というテーマで開催する。

3年前からのコロナで生活や仕事は大きく変化しましたが、どんな時代でも専門職としての知識・技術をもって人々の生活を良くし、広げていけるのが作業療法である。

特別公演は横浜市立脳卒中・神経脊椎センター作業療法士の早川裕子先生に、高次脳機能障害の基礎から生活の拡大についてのご講演をお願いしている。

脳機能の知識はもちろん、行動や生活を考える視点はとてもためになる。また、キャリアアップ・キャリアチェンジについて、石川県リハビリテーションセンターの寺田佳世先生、はまなすの丘の明福真理子先生、七尾自動車学校の高間達也先生にご講演いただく。

患者などの対象者はもちろん、自分自身の可能性も広がるワクワクを感じられるような学会にしたい。より多くの方の参加を期待している。

## 石川県士会としてSDGsへどう取り組んでいくのか

広報部理事 越田 雄 (JCHO金沢病院)

先般、全会員へ向けてSDGsに関するアンケートを実施した。結果について、事業報告定期便で皆様にお送りしたが、目を通していただけたでしょうか。回答数は全会員の1割程度ではあったが、「石川県士会としてSDGsに取り組むべきだと思うか？」の問いには90%の方が「はい」と答えており、改めて本活動の必要性を感じた。また、具体的な取り組み案についても多数のご意見を頂いた。対外的なものとしては、SDGsと作業療法の親和性についての発信、地域のイベントや健康教室への参加などが挙げられ、対内的なものとしては、生活状況や居住地に左右されず研修できる仕組みづくり、メーリングリストやSNSでの情報配信の活用によるペーパーレス化などが挙げられた。今回のアンケー

ト後、新たに2名の会員が本活動に参加していただけることとなった。現在は頂いた意見をもとに、県士会としての取り組みを検討しているところである。今後、当会が「持続可能でよりよい社会の実現」に貢献できるような組織であることを対外的に示すだけでなく、会員の皆様にとってもよりよい組織となるよう、一緒に活動できる会員をさらに増やしたいと思っている。関心のある方は、以下の問い合わせ先にご連絡いただければ幸いである。

<問い合わせ先>

担当：JCHO金沢病院 越田 雄

E-mail：koshida-yu@kanazawa.jcho.go.jp

電話：076-252-2200 (代表)

## 【連載】障害福祉分野における作業療法士の支援 ～情報その3～

地域保健福祉部 福祉担当 平譯 麻理  
(石川県精育園)

今号では「成人～壮年期」における作業療法士(以下、OT)の関わるサービスのうち、障害者総合支援法に基づく「生活介護」、「訓練等給付」で働くOTについて紹介する。

まず、「生活介護」とは、障害者支援施設などで、常に介護を必要とする方に対し、主に日中において、日常生活上の支援、活動の提供のほか、身体機能や生活能力向上のために必要な援助を行うサービスである。OTは、基本的動作や日常生活動作訓練、作業活動や、福祉用具や自助具の活用、環境調整等、様々な支援を行っている。また、「訓練等給付」は、障害がある方が、自立した生活や社会生活また就労を目的とした必要な訓練の機会を提供するサービスであり、自立訓練(機能訓練・生活訓練)、就労移行支援、就労定着支援、自立生活援助、共同生活援助(グループホーム)がある。その中でOTは、生活の中でも困

難に感じる動作の訓練や、就労のために必要な知識や能力を訓練する機会や環境を支援している。その後、一般就労が難しい方は就労継続支援として雇用契約を結んで働くA型、雇用契約がなく、軽作業が主体となるB型を利用する方がいる。当県でもこれらの「訓練等給付」に基づくサービスに関わっているOTがいるが、これらは介護保険制度にはないサービスであり、介護保険優先の障害のある方々でも自立度の高い生活や就労を目指す障害のある方々で、その必要が認められれば利用できるサービスである。

このように、この時期のOTは、自立を視点においた生活支援や身体機能の維持向上、就労支援等が重要となるが、それらの支援に加え、次のライフステージである高齢期も見据えた介護予防の視点も必要になっている。

## 令和4年度 厚生労働省指定臨床実習指導者講習会 (石川県講習会)開催について

石川県作業療法教育協議会 種本 美雪  
(専門学校 金沢リハビリテーションアカデミー)

### 1. 本講習会について

- 11月19日(土)・20(日)、令和4年度 厚生労働省指定臨床実習指導者講習会(石川県講習会)をオンラインにて開催した。今回は40名の方に参加頂いた。開催にあたり講師およびファシリテーター、運営などにご協力頂いた皆様に感謝申し上げます。
- 今回も濃厚な2日間となり、各グループで学生指導の在り方など、活発な議論が展開されていた。講義内容も若干変化しており、毎回携わる私も常に学ぶことが多いと感じている。
- 臨床場面での学生教育を行う場合は、基本、本

講習会受講が必須となる。現時点で200名弱の方が未受講(年代別では中堅層からベテラン層の未受講者が多い)のため、次回以降にて多くの方に受講頂きたい。

### 2. 臨床実習指導に関する研修会について

- 今年度も学生への指導技術を研鑽するため研修会を企画している。学生の臨床実習指導は年々変化しており常に学んでいく必要があることから、学生指導にあたる多くの臨床指導者には是非参加頂きたい。(詳細は内容が決まり次第、案内する)。



講習会様子

## 新人作業療法士へのお勧め書籍紹介

「自助論」著者：サミュエル・スマイルズ 訳者：竹内 均

木島病院 桂 靖典

この書籍は職場で管理職となり先輩達の背中を見て働いてきたが自分が、反対に後輩たちに背中を見せる立場になり、仕事で悩んでいた頃、大学時代の恩師を訪ねた際に紹介されたものである。

「天は自ら助くる者を助く」という言葉を聞いた人は多くいると思う。この言葉は本書の始まりの一節である。300人以上の偉人たちの成功談、失敗談を紹介しながら、仕事だけでなく人生を生きる中で大切なことは何かと教えてくれる。今の自分の仕事や人生に対する姿勢は、この本から学んだことが多く活きている。善悪に関わらず自分の身に起こることは全て自分の行いの結果であると改めて認識させられる一冊である。

昨今、作業療法士が活躍する領域が拡大し、少人数の職場も増加傾向にあり、経験年数の少ない作業療法士しかいない施設も増えてきている印象である。ここでは新人作業療法士に勧める書籍を紹介するものだが、そのような施設で勤務する作業療法士にも是非とも一読し、自己鍛錬に励んで頂けたら幸いである。

## 能登支部

恵寿総合病院 小川 正人

11月18日MTDLP検討会が開催され16名が参加し、2事例を検討した。「食事・洗濯物運びの安全性が向上し家族の不安感が軽減した独居高齢者の事例」では福祉用具や認知機能に応じた衣服管理の工夫などを検討、「MTDLPを用いて主体的な生活を目指した一例」は失語症を有する拒否事例の思いを丁寧に汲み取

り復職に向け多職種と家族間の連携について共有した。詳細は定期便を参照頂きたい。新年2月に就労支援についてハイブリッド研修を予定、能登OTチャットでも確認できるので是非多くの参加をお待ちしている。



能登OT 研修情報共有

## 加賀支部

片山津温泉・丘の上病院 西村 幸盛

加賀支部では11月27日に「対象者の思いやニーズを引き出すコミュニケーション」と題し芦城クリックの言語聴覚士 田畑 美香氏を招き失語症の方の病態や心理的背景を考慮したコミュニケーションの在り方について学ぶ機会を得た。実践的で明日からでも臨床で

取り入れることができる有意義な内容であった。次回は2月15日に第3回に事例検討会を予定している。多数の報告や参加を期待している。

## 金沢西支部

石川県リハビリテーションセンター 長原 美穂

金沢西支部の令和4年度事業は、残すところ2月1日(水)開催の第3回MTDLP事例検討会と3月1日(水)開催の第3回事例検討会のみとなった。感染症が蔓延しやすい冬場ということもあり、ともにオンラインでの開催を予定している。オンライン画面に時折映る

お子さんの姿はとてもほっこりする。金沢西支部は、子ども連れでの参加も大歓迎であり、お子様連れで報告希望の方には報告順番も希望に沿いたいと考えているので、気軽に参加いただければと思う。

## 金沢東支部

金沢大学附属病院 堀江 翔

9月28日にMTDLP事例検討会、10月28日に一般の事例検討会を開催した。一般の方はハイブリッドにて行い、久しぶりの現地開催でZoom上では十分に話しきれない内容の相談や雑談、新しい方との交流など、対面のよさを改めて実感できたとの感想をいた

だいている。また9月24日には金沢市にて健康づくりフェアに参加し、OTブースには38名が参加された。啓発イベントも再開されてきており、積極的にOTをアピールしていきたい。

## ◆◆◆令和4年度 公益社団法人石川県作業療法士会 第3回理事連絡会 議事録◆◆◆

- 日時：令和4年9月8日(木) 19時00分～21時 西泉事務所およびZoom使用によるWEB会議
- 出席：東川、麦井、桂、東、(以上会場)安本、寺田、米田、種本、中森、永井、合歓垣、酒野、越田、坂下、加藤(理事15名)、堀江、長原、西村、小川(支部長4名)(以上Zoom) 書記：山本(Zoom)、濱岸(会場)

## 【審議事項】

- ≪地域保健福祉部 保健≫地域包括ケアシステムに関する基礎研修会の日程は令和5年1月21日(土)を予定している。承認
- ≪広報部≫県士会ニュース125号の原稿メ切を11/22、発行12/21では発送が年末に係るので、1月発送とする。承認  
災害安否確認システム、認知症対策委員会アンケート結果を掲載する。おすすめ書籍の紹介を桂理事に願います。承認
- ≪事務局≫東海北陸リーダー研修会(10/22オンライン開催予定)5名枠に1名不足。加賀支部で依頼。承認
- ≪その他≫地域包括ケアシステム推進のための伴走型保険者支援事業を県が昨年からの募集している。OT会として学術的な発言力も必要。米田理事に一任 承認

## ◆◆◆令和4年度 公益社団法人石川県作業療法士会 第3回理事会 議事録◆◆◆

- 日時：令和4年11月11日(金) 19時00分～19時40分 西泉事務所およびZoom使用によるWEB会議
- 出席：東川、寺田、麦井、桂、東、(以上会場)安本、米田、種本、中森、永井、合歓垣、酒野、柿島、越田、加藤(理事15名)、堀江、長原、小川(支部長3名)、後出、進藤(監事2名)(以上Zoom) 書記：築山、濱岸(会場)
- 議事【議決事項】

- ①令和4年度中間決算及び補正予算について、安本副会長兼財務担当理事より、中間決算・補正予算案の報告、今年度の会費収入の3事業への振り分け割合の提案があった。会費収入のうち72%を公益目的事業、3%を収益事業、25%を法人会計に振り分けることで3事業それぞれの収支差額も理想額となるため、理事会での決議を依頼。また、予算にある140万円の積立について今後黒字が進んだ場合には黒字の用途を積立金に調整し、決算額に応じて積立金の変動の可能性があるとの報告があった。承認
- ②倫理委員会東川会長より、石川県内の作業療法士傷害事件について、対応の進捗状況と、日本作業療法士協会の倫理委員会と対応相談中である。本会としての処分を総会までに検討し、総会にて諮る予定となると報告があった。承認 承認

## ◆◆◆令和4年度 公益社団法人石川県作業療法士会 第4回理事連絡会 議事録◆◆◆

- 日時：令和4年11月11日(金) 19時40分～21時 西泉事務所およびZoom使用によるWEB会議
- 出席：第3回理事会に同じ(監事以外)

## 【審議事項】

- ≪広報部≫COTOT9号割符案について今回は高校生向けの内容にしたい。表紙モデルはフレッシュな会員、1名でなくとも複数でもよい。能登地区、加賀地区の施設にも依頼する。承認

【報告事項】各部局、支部より報告があった。

## インフォメーション

## 研修会案内・県士会活動

1月11日(水)在宅支援部  
訪問領域 第2回なんでも相談会

1月19日(木)福祉機器部研修会  
「OTとモノづくりの専門職の協働について」

1月21日(土)地域保健福祉部  
「地域包括ケアシステムとは！  
～退院支援ケースを通して学ぼう～」

1月25日(水)金沢東支部  
第3回MTDLP事例検討会

1月28日(土)精神医療部研修会  
「児童思春期における作業療法士の関わり」

2月1日(水)金沢西支部  
第3回MTDLP事例検討会

2月3日(金)金沢東支部  
第3回事例検討会

2月4日(土)能登支部研修会  
「七尾市中能登町の就労支援について」

2月8日(水)加賀支部  
第3回事例検討会

2月17日(金)精神医療部  
精神医療部オンラインカフェ

3月1日(水)金沢西支部  
第3回事例検討会

3月3日(金)運転と作業療法に関する委員会  
第2回勉強会

3月8日(水)在宅支援部  
訪問・通所領域 合同オンラインなんでも相談会





PT・OT・STのための  
総合オンラインセミナー

**リハノメとは**

「リハノメ」はPT・OT・STのための、  
どこでも学べるオンラインセミナーサービスです。  
臨床に悩むPT・OT・STのために、  
各分野の専門家が臨床経験や研究成果に  
基づいた知識・技術をお届けいたします。

POINT **5**

- どこでも学べる
- 日本最大の講師数
- オフライン再生対応
- 定額見放題
- 31 配信スケジュール 随時公開

**1ヶ月見放題プラン**

通常料金 3,080円が初回限定で…

**980円** (税込) お申込はこちら



作業療法士/  
山梨リハビリテーション病院  
リハビリテーション部 副部長 兼  
作業療法課長  
**山本 伸一 先生**

作業療法士 / 目白大学保健医療学部  
作業療法学科 准教授  
**佐藤 彰弘 先生**

法人様向けプランも  
ご用意しております

株式会社 **gene** ジーン

〒461-0004 愛知県名古屋市東区葵1丁目26-12 IKKO 新栄ビル6階

✉ seminar@gene-llc.jp

Tel.052-325-6611

リハノメ 検索

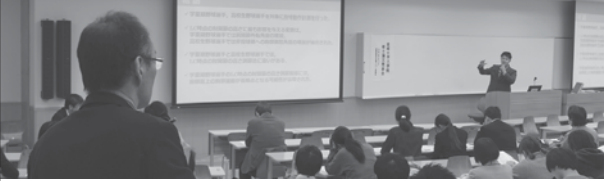
ケアスタッフ、看護師向け  
オンラインセミナー

**ケアラル**

**ナースグデ**

リハノメ HP は  
こちら





**「超高齢社会」、  
そして「アフター・コロナ」に向けて。  
現場の悩みを解決したい方や、  
学びの追及をしたい方へ。**


**金城大学 大学院で学んでみませんか？**

- ・総合リハビリテーション学研究科
- ・総合リハビリテーション学専攻(修士課程)

遠隔オンライン  
学習対応

安心設定の  
学納金


就業しながら学べる  
昼夜開講制



2021年度  
**「作業療法士」91.3%** (2021年度卒業生実績)  
国家試験合格率 (全国平均88.7%)

**金城大学**

詳しくは、  
ホームページを  
ご覧ください。



全国に広がる有料老人ホーム

**パーキンソン病専門  
PDハウス**



施設 **ビジョン**

「我がまに生きる」

「病気だからできない」ではなく「病気でできることはある」という視点から、利用者様が様々なものに挑戦できる環境を目指しています。また、現場で働くセラピストの想いや技術が活きる、未来ある場所になるよう日々試行錯誤しています。

働き方改革 **目標**

2023年に向けた

- 公休数 **120日**
- 残業 **0時間**
- 有給取得 **100%**

**PDハウス野芥 笠松 朋枝**

PDハウスには、元気で優しく知識が豊富で、尊敬できるスタッフさんがとても多いです。私もまだまだ周りの皆さんに助けられてもいるのですが、これからは私も自身が成長し、頼ってもらえるような存在になることが目標です。

**出店計画**

- 関東エリア
  - PDハウス相模大野 ..... 2021.01
  - 東京1号店 ..... 2021.夏
  - 神奈川2号店 ..... 2021.秋
- 関西エリア
  - PDハウス岸部 ..... 2021.06
  - 大阪2号店 ..... 2021.秋
- 北海道エリア
  - PDハウス野芥 ..... 2020.11
  - 札幌2号店 ..... 2021.春
- 福岡エリア
  - PDハウス有田 ..... 2020.06
  - PDハウス今宿 ..... 2021.05



働き方  
公開中!

介護サービス **サンウェルズ**

☎ 0120-905-166



## 賛助会員名簿 (順不同)

### A会員

社会医療法人董仙会  
学校法人金城学園  
株式会社gene

### B会員

学校法人センチュリー・カレッジ  
社会福祉法人徳充会  
特定医療法人社団勝木会  
医療法人社団和宏会

### C会員

粟津神経サナトリウム  
石川県済生会金沢病院  
石川県リハビリテーションセンター  
医療法人社団浅ノ川浅ノ川総合病院  
医療法人社団浅ノ川金沢脳神経外科病院  
医療法人社団浅ノ川桜ヶ丘病院  
医療法人社団浅ノ川千木病院  
医療法人社団映寿会  
医療法人社団さくら会森田病院  
医療法人社団慈恵会  
医療法人社団丹生会  
医療法人社団生会えんやま健康クリニック  
医療法人社団扇寿会  
医療法人社団長久会  
医療法人社団同朋会  
医療法人社団千木福久会  
社会福祉法人寿福祉会

医療法人積仁会  
金沢医科大学病院  
独立行政法人地域医療機能推進機構金沢病院  
金沢赤十字病院  
公立穴水総合病院  
公立宇出津総合病院  
社会福祉法人篤豊会  
社団法人石川勤労者医療協会城北クリニック  
城北病院  
珠洲市総合病院  
芳珠記念病院  
医療法人社団竜山会金沢古府記念病院  
医療法人社団持木会柳田温泉病院  
医療法人社団光仁会  
医療法人社団橘会整形外科米澤病院  
宇野酸素株式会社  
金沢義肢製作所  
株式会社トータルシステム  
株式会社トミキライフケア  
エア・ウォーター・リンク株式会社  
株式会社ヤマシタ  
セントラルメディカル株式会社  
株式会社メディベック  
株式会社サンウェルズ

### D会員

あいずみクリニック  
有限会社さわやか金沢  
東洋羽毛北信越販売株式会社北陸営業所

## Web会員手続きQRコード



### QRコードの説明

Web会員手続きがお済みでない会員は、QRコードからWeb会員登録フォームにアクセスして登録してください。登録いただいた

メールアドレスに研修会案内や県士会からの連絡などをML配信します。



県士会Web QRコード▶



## 会員数

会員数 867名(令和4年12月現在) 認定作業療法士数 33名(令和4年12月現在)  
専門作業療法士数 4名(令和4年12月現在)

## 編集後記

寒冷の候、いかがお過ごしでしょうか。今年も県士会ニュースをご愛読賜りますようお願い申し上げます。さてwithコロナ時代の幕開けである。いつまでもネガティブな情報に引っ張られてばかりはいられない。新しい未来に向かって、ライフスタイルの再構築が必要である。みなさんはどんな目標を立てただろうか。作業療法士を取り巻く環境においても、技術の発展や対象領域の拡大など多くの変化が起こり、働き方、生き方は変化し続けている。専門性を高めるための学びに加え、自分が正しいと思っていることに固執せず、思考習慣・慣習等を手放す学びほぐしも重要である。越境的な学びには不安や違和感を伴うが、成長には程よい居心地の悪さも必要なのかもしれない。いずれにしても暖かくなる春先まで、心身ともにお健やかに過ごして下さい。

公益社団法人石川県作業療法士会ニュース 年4回発行

編集担当：酒野直樹、米田貢、越田雄、川口朋子、藤田隆司、寺井利夫、萬貴裕、太田哲生、岩田望、網谷郁美、西谷早紀、亀井友稀乃、竹中朋也、白山武志、藤田朱音、村井俊太、福岡翔平、長谷梨紗、仲佐東、宮腰真、上野玲子、川上直子、宮田真由美、竹村健太郎、増田司、南澁太

発行所：公益社団法人 石川県作業療法士会

〒921-8043 石川県金沢市西泉3丁目28-1 東和第3ビル201 Tel 076-259-0678

発行人：東川哲朗 印刷：ヨシダ印刷株式会社